

## 「子育て家庭を地域で支える仕組みづくり」課題の整理・検討①

## ① 子育てニーズの把握と切れ目ない支援のための体制強化

全ての子育て家庭に対して妊娠期から行政の専門職等が関わり、各家庭のニーズをもれなく把握するとともに、支援を切れ目なく行うための体制強化が必要

【検討の視点(案)】 ※下線部分は前回意見を受け追記等した箇所

## ○ 地域で子育てニーズを的確に把握するための方策について

- ・ 母子健康手帳の交付時や各種健診、相談対応、サービス利用等の機会を通じた子育てニーズや課題の適切な把握

(健診未受診者のフォローアップ、サービスにつながらず孤立する家庭へのアプローチ、虐待ハイリスク家庭の早期発見)

- ・ 妊娠期や出産後間もない時期のニーズ把握のための新たな方策等

(産婦健康診査の実施、産後うつ<sup>①</sup>の家族・親族への理解促進)

## ○ 妊娠期からの切れ目ない支援の方策について

- ・ 支援が必要な家庭に対するサービスの充実策について

(産後ケア事業等)

- ・ 切れ目ない支援のための関係機関の連携について

(予期しない妊娠や望まない妊娠に対する支援、里帰り出産に対する切れ目ない支援、虐待ハイリスク家庭に対する支援、医療機関と連携した支援)

## ○ 体制強化の方策(人員体制や人材育成策等)について

- ・ 精神疾患や産後うつへの対応の強化

## ○ 母子保健施策と他分野の施策(子育て支援や障害児支援)の連携(※)について

※ 改正母子保健法を踏まえた児童虐待の発生予防・早期発見の取組についての視点を含む